

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月20日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103839
法人名	社会福祉法人 中江報徳園
事業所名	グループホーム サンひまわり
所在地	鹿児島市下伊敷1丁目44番11号 (電話) 099-218-2045
自己評価作成日	平成30年11月5日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/46/index.php</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成30年11月23日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・『知恩報徳』を理念に掲げ、職員一同利用者様が明るく豊かな生活が送れるように、その恩に感謝し社会への貢献を目指しています。

・サンひまわりは下伊敷1丁目の国道3号線近くで、交通の便もよく利用しやすい場所に開設されています。近隣には玉江小学校や県立短大もあり、静かな地域に立地し住環境に適しています。

・玉江校区コミュニティ協議会の一員として、公民館や近隣の学校行事にも積極的に参加し、利用者様や職員と地域住民との交流が図られています。

・常勤の看護師を配置し24時間の医療連携体制をとっており、日常の健康管理においても安心して施設生活を送って頂けます。

・職員は法人内での勉強会、外部の研修にも積極的に参加し、認知症ケアのみならず様々な分野の知識を深め、サービスの質の向上を目指しています。

・法人内の管理栄養士や理学療法士などの専門職とも連携し、栄養バランスのとれた季節の食材を活かした食事の提供、生活動作機能の向上に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○グループホームの理念に加え、法人の年度目標である「ためらわず 私の一言が 改善の一步 ～やさしい言葉、笑顔を添えて～」を事務所内に掲示するとともに、理念を、4つのところ「謙虚なところ 敬いのところ おもてなしのころ 感謝のころ」として具体化させたものを毎朝唱和することで意識付けを図っている。

○町内会に加入し、校区の文化祭や六月燈、成人の集い等の地域行事に参加している。また、昨年発足した地域コミュニティ協議会の中の社会福祉部会に加入し活動に参加するほか、消防の集いにも参加して消防団員との連携も図っている。小学生の社会科実習「まち探検」の受け入れや中学生のサマーボランティア、高校生や支援学校生の実習の受け入れなど、教育機関とも積極的に交流している。

○入居前のかかりつけ医を把握し、入居後も本人や家族の希望する医療機関を受診できるよう、家族と職員が協力して受診を支援している。協力医療機関による訪問診療や訪問看護ステーションの看護師との連携も密に図れているため、本人や家族、職員の安心につながっている。また、これまでに看取りの支援を行った事例もあり、引き続き、医師や看護師等関係者全員で連携し合い、本人、家族が後悔しないよう、揺れ動く思いをこまめに把握しながら、納得のいく最期を迎えられるよう支援していきたいと考えている。

### 虹ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人理念、事業所目標をユニット玄関と事務所に掲げ職員間で声かけ、意識しながら実践に繋げている。	ホームの理念を共有し実践につなげられるよう、理念を「謙虚なところ、敬いのところ、おもてなしのところ、感謝のところ」の4つのところとして事務所に掲示し、毎朝唱和することで意識付けを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域行事（六月灯、校区文化祭、おはら祭り）に参加、交流している。地域コミュニティ協議会部員としても事業所として活動している。	成人の集いや六月燈、校区の文化祭等の地域行事に参加し交流している。昨年発足した地域コミュニティ協議会の社会福祉部員として活動するほか、消防の集いにも参加し、消防団員とも連携を図っている。また、中学生や高校生の実習の受け入れなど、教育機関とも積極的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域コミュニティ協議会の中で民生委員や地域の方の認知症支援の困りごと相談を受けている。認知症サポーターとして地域の講習会にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月毎に開催し利用者様を始め家族、地域住民、近隣の事業所等に参加いただいている。サービス状況などに対してご意見等を頂きサービス向上に役立てている。	会議には利用者や家族、民生委員や行政職員、薬局の薬剤師等多数参加され、事業所の活動内容や利用者状況、ヒヤリハットについてを丁寧に説明している。特にヒヤリハットの報告については、参加者の身近な介護や支援にも役立つなど、活発な意見交換がなされている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	鹿児島市長寿支援課、介護保険課など各関係課の主催の研修会に参加し連携している。	行政職員とは介護認定の更新や集団指導、介護保険制度改定に伴う説明会等で顔を合わせるほか、保護課担当者とも連携を図っている。また、年1回、介護相談員を受け入れ、事業所の実情やサービスの取り組みを説明し、頂いた意見をサービス向上につなげている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的に身体拘束廃止に関する勉強会や研修会に参加し、職員の意識向上に取り組んでいる。日中玄関に施錠はしていない。	身体拘束廃止委員会を設置し、定期的に研修会を開催している。また、毎月の職員会議でも拘束にあたるケースは生じていないかを話し合い確認し合っている。言葉による拘束についても常に勉強しており、不適切な言動を確認した場合は、職員同士声をかけ合うなど、適切な接遇に努めるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に研修や勉強会に参加し理解を深めている。職員間では虐待につながるような言動をお互い注意しあえるように努めている。職員のメンタルヘルスの勉強会やチェックも行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	定期的に研修会や勉強会に参加し学びの継続を行っている。利用者様には必要な事を検討、提案している。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には管理者が内容の説明を行い、納得し同意を得た上で署名を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会の際には必ずご家族へ声かけし、お気づきの点がないか確認している。玄関に意見箱を設置、毎年無記名のアンケート実施、運営推進会議への参加で意見を表せる機会を作っている。	家族が面会に来られた際は必ず意見を尋ねるとともに、年1回アンケートを取り要望を確認している。家族からリハビリをしてほしいという意見が出されたため、定期的に法人の理学療法士に来てもらい、日常的に行えるリハビリの助言を頂き、実践につなげるなど、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月分科会で職員同士意見を出し合っている。管理者は定期定期に面談を行っている。	年2回人事考課を兼ねた個別面談を行い、年度目標の達成状況や運営に関する意見の聞き取りを行うほか、朝夕の申し送り時や業務の合間に話をするなど、日常的に職員の意見を聞き取るようにしている。防犯カメラや防犯灯の設置など、職員の意見で改善したケースは多い。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は毎月の会議等でコミュニケーションを図っている。職員は個人目標管理票を作成。書く時目標に向けて年間計画を立てて取り組み、そのフォローアップに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎年度初めに、内部外部の研修計画を作成し、随時案内、参加を促すとともに、分科会カンファレンス等も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会にも参加し、研修や相互活動の中で情報交換している。また、協力病院と合同で勉強会を行う等、多岐にわたり質の向上に取り組んでいる、</p>		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前にご本人、家族と面談し生活歴、病状、心身の状態を把握、困り事やご意向を伺い信頼関係を作り安心して利用できるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に家族と面談し施設での生活や対応の説明を行い、家族の要望や意見を伺っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人や家族、医療機関や入所前のケアマネージャー等から情報収集を行い、カンファレンスを開催し対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>簡単な家事や調理作業などご本人の出来ることを見極め職員と一緒にいき、自立への意欲を持って頂いている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月のお便りで近況報告を行い、行事にはご家族の参加を呼び掛け、家族での楽しいひと時を過ごして頂いている。外出や外泊の支援も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人の面会時にはゆっくりと談話できるように環境に配慮している。	馴染みの美容室やお店、お墓参り等、ふるさと訪問として出かけている。また、ラーメンを食べに出かけたり、趣味で取り組む大正琴の弦の張り替えに同行するなど、可能な限り個別に希望する外出先に連れて行くよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	行事やレクリエーションを通して本人の個性や能力、性格等を見極め関係性を作る支援をしている。仲間づくりやお手伝いをする関係作り。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後にご本人やご家族と面談や連絡を取り、入所、入院先の担当者に情報提供を行いフォローをしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中でご本人の思いや要望の把握に努めている。困難な場合はご家族から情報を得たり、ご本人の表情や行動から思いを読み取り職員間で話し合い取り組んでいる。	日頃の様子観察や日常会話から思いを汲み取るとともに、居室の掃除や入浴時等、利用者と職員が個別に接する場面において、積極的に会話することで思いや意向を把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前面談でご本人、家族、ケアマネージャー等より伺っている。関係機関からの情報収集にもつ留めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズム、心身状態を把握し、無理せず生活出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族より要望、意向を聴き、心身状態を把握したうえで職員、専門職の意見も伺いながら、カンファレンスを行い介護計画を作成している。	利用者や家族の意向を基に担当職員の意見や主治医、看護師の意見も参考にしながら介護計画を立てており、状態に変化がみられた場合等、随時計画を見直している。また、グループホームケアマネ研修会に参加したことで、書式の工夫につなげることができた。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	看介護記録に細やかな観察や対応の記録を行っている。個別の情報は職員全員が確認できるように共有し、介護計画の見直しに活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診や本人の必要な物の買い物支援など、ご家族と連携しながらその都度対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人が安心して生活できるように警察署、消防署、民生委員等と連携を取っている。近隣の学校行事などにも参加し交流している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望される医療を受けられるように、かかりつけ医と連携し受診などの支援をしている。	入居前のかかりつけ医の情報を把握し、本人、家族の希望する医療機関を家族と職員が協力し受診を支援している。協力医療機関による訪問診療や緊急時の対応、また、訪問看護ステーションとも連携しており、本人、家族の安心につなげることができている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調変化や気づきの情報を看介護職員で共有し異常の早期発見、早期受診へ繋げている。看護師を配置しており、医師に報告し指示を受けられるように連携を図り協働できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は入院計画書を確認し協力病院の担当看護師等関係者と情報交換や相談に努めている。入院中の状態把握し早期に退院できるように医療機関との協働を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時にご家族様に重度化や終末期に向けた方針の説明をしている。協力病院と連携を取りながら終末期には看取りも実施し、全職員で支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に「看取りに関する指針」を説明し、入居後も繰り返し説明することで本人家族の変化する思いの把握につなげている。重度化や看取りに関する研修会を実施するとともに、吸引器の確認やAED講習を受けるなど体制を整えており、終末期には医師や看護師、家族や職員が連携を図りながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故、急変時の対応マニュアルを掲示し、職員全員が対応できるようにしている。毎年救命救急法や応急手当の研修を地域消防署と連携し行い職員は参加している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>月1回の防災訓練を実施し、火災、風水害、地震発生時の対応を身につけている。地域の防災担当者とも連携を取っている。</p>	<p>年2回消防署立ち会いの災害訓練に地区の防災担当者にも参加してもらい実施している。また、毎月、AED講習や避難経路の確認、水害や地震を想定した対策を確認するなど、自主訓練を繰り返し実施している。備蓄に関しては、食料や米など2日分程度確保しているが、飲料水が不十分なため早急に対応する意向である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎朝接遇目標を読み上げ意識付けし、ゆっくり丁寧な対応を全職員で心掛けている。入浴介助や排泄介助時のご利用者の思いや羞恥心へ配慮し対応している。	毎朝、接遇目標を読み合わせることで意識付けを図り、ケアする上で疑問が生じた時は、接遇目標を振り返るようにしている。居室は利用者の家にあたるため、必ず声をかけ、同意を得てから入室するようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の場面で、本人のペースに合わせ希望やご意見を伺うように配慮し支援している。意思伝達が困難なご利用者は、表情や生活歴などから思いを受け取れるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者のペースや生活スタイル、その日の体調に合わせて希望を伺い、休息や散歩、趣味活動などの支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類の選択は基本にご本人の意思決定で支援している。毎朝整容にも配慮し、出来ない方は職員が付き添い、介助し身だしなみを整えている。		
		○食事を楽しむことのできる支援	個々に合わせ調理の下準備、盛り付け、片づけを手伝って頂い	献立は法人の管理栄養士が立てるが、クリスマスや運動会等の行事の	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けもそれぞれに食べやすいように工夫している。又菜園などを利用して季節の食材をご利用者と収穫し、調理している。	際は、食べたい物のリクエストに応じている。調理の下ごしらえや食卓の準備を利用者と職員が共に行うとともに、利用者が当日のメニューを書き出し、読み上げるなど、会話を楽しみながら食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士作成の献立を元に食事を提供している。一人ひとりの好みや状態に合わせた対応も行っている。水分摂取が困難な時はゼリーやシャーベットで補う等支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。基本的に本人が行い、職員が仕上げや確認をしている。歯科受診時は歯科医と連携し、口腔ケアの指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時の声かけやトイレ案内で出来るだけトイレで排せつできるように支援している。トイレをスムーズに使えるように機能訓練も行っている。	日中は可能な限りトイレでの排泄を支援するため、立ち座りの訓練にも力を入れ取り組んでいる。排泄チェック表をつけ、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導につなげるほか、トイレに行きたい素振りを見逃さないよう見守りを徹底している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、医師の指示で下剤服用を行い、スムーズな排便への支援を行っている。腹部マッサージや運動、水分摂取UPなどで便秘予防にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回以上の入浴を実施している。入浴剤を入れるなど楽しめるよう工夫している。同性介助希望にも可能な限り対応している。本人の意向を聴きタイミングに合わせた支援をしている。	週3回以上の入浴日を設けるほか、シャワー浴や足浴にも随時対応している。また、希望があれば同性介助など羞恥心にも配慮し対応している。入浴後はスポーツ飲料やコーヒー、紅茶など好みのものを飲んで頂いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれのペースで生活して頂き、体力、体調、気持ちに合わせて休息して頂いている。不安を訴える時は傾聴し寄り添っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々に薬ファイルを作成しマニュアルに沿って服薬介助している。それぞれの薬状をファイルに入れてあり、効用や用量を確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ほとんどのご利用者が、日課として施設内の清掃や家事など役割を担って背活をしている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	そうめん流しやコスモス見学等の行事の他、希望を伺いながら近隣の散歩や買い物に出かけている。家族との外出、外食にも出かけている。	初詣や花見、そうめん流し等、年間行事計画を立て出かけるほか、スーパーや100円均一ショップでの買い物など日常的に外出している。また、ふるさと訪問として、馴染みの商店やお墓参り、出身母校に出かけたり、「ラーメンを食べたい」等、外食の希望があれば個別に出かけ、気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんどのご利用者が自分で財布を持っており、希望時に買い物に出かけたりしている。品物を選んだり、支払いするときに職員は見守り、一部支援し家族に報告している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎月ご家族へ「ひまわり便り」を送付。それぞれのご利用者の近況を報告している。希望時には電話の取り次ぎも行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>整理整頓に努め、玄関や食堂、居室にご利用者が生けた季節の花や季節を感じられるような展示作品を飾っている。温度、湿度計を見ながら室温調整を行い、愛的空間の確保に留めている。</p>	<p>リビングや廊下に、利用者と職員が作った季節の作品や、文化祭に出展した作品が飾られるほか、小学生の社会科実習「町探検」のお礼の手紙が掲示してあり、和やかな雰囲気を感じられる。廊下はクッション性の高い床材を使用し、居室はコルク材を使用するなど転倒によるリスク軽減を図っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有スペースの中に2か所のソファを設置し、一人で過ごしたり気の合う他のご利用者と一緒に過ごせる空間づくりをしている。</p>		
		<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p>	<p>居室では本人、家族の希望に合</p>	<p>ベッドやタンス、洗面台が備え付けられるほか、テレビや位牌、小物な</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	わせ思い出の品や写真、使い慣れた品物を持ち込んで頂き安心して生活を過ごせるよう工夫している。	ものを自由に持ち込み、居心地に配慮している。また、現在ベッドは一部が介護用ベッドだが、今後は順次すべての居室に介護用ベッドを導入していく予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室から食堂やトイレは解りやすい動線となってる。又、自分で行きたい場所が解るように張り紙などで場所を知らせている。状態変化時はその都度生活しやすい環境づくりをしている。</p>		

## V アウトカム項目 虹ユニット

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない